

平成29年度

事業報告書

特別養護老人ホーム 貴志川聖アンナの家
聖アンナショートステイサービス

平成29年度 事業報告

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家 入所定員 50名

《目標達成について》

目標額 194,300,000 円

達成額 193,344,290 円 達成率 99.5%

1. 利用者本位のサービスの提供

- 利用者の意思を尊重した利用者本位の質の高いサービスの提供を目指しているが、どうしても業務優先のケアになりがちであった。また言葉遣いやケアに対する職員の意識改革を図る為に個別面談を行い、日々の業務内容や介護に対する考え方などの意見交換を実施した。

2. リスク対策

- 感染症の発生について、年末年始にはノロウイルスによる集団感染、2月にはインフルエンザの流行により入所者及び職員が罹患したことで面会制限を実施し、面会制限中は入所者やご家族、各関係機関には大変ご迷惑をお掛けした。
- 事故及び苦情について、骨折や入院に至る事故はなかったが、職員の不注意による介護事故報告は数件あった。また苦情について、言葉遣いや対応に対する苦情が数件あり、再発防止に努めた。

3. 職場環境の改善

- 以前からの課題であった1F食堂での食事提供について温冷配膳車の追加購入により適切な温度での食事提供が可能となった。
- エレベーターのリニューアル工事を実施した。

- ナースコールシステム、ボイラー給湯器の交換を検討中である。
- 特養入所者とショートステイ利用者に対する業務分担については協議を重ねていたが、年度内での実施には至らなかった。

4. 職員の資質向上

- 外部研修への参加が少なく、また新人研修は現場任せであり、今後の課題である。

5. 医療機関との連携

- 近隣の医療機関において施設入所の意向がある患者様を紹介してもらえようコミュニケーションを図り、友好的関係を構築できるように努めた。
- 必要に応じて坂口内科はもちろん山中歯科やうえおく皮膚科、さかい耳鼻科、久保外科への受診または往診を積極的に活用し、地域に密着した施設を目指した。

6. 看取りケア体制の強化

- 坂口医師指示のもと、ご家族の希望に寄り添いながら他職種協働による手厚いケアが提供できた。

7. 施設運営の安定

- 物品や消耗品について、できるだけ経費削減に繋げた。しかし経年劣化による故障や交換に要する修繕費用は嵩んでいる。
- 施設入所者が入院や退所となった場合はできるだけ迅速に併設事業所であるショートステイから空床利用や施設入所への切替えを行い、特養ベッドの稼働率の維持に努めた。

(平成29年4月～平成30年3月)

月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	17	15	15	16	14	13	17	17	16	17	16	15	188
女	38	35	36	38	38	38	36	34	35	36	37	37	438
合計	55	50	51	54	52	51	53	51	51	53	53	52	626

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	2	1	2	1	1	2	2	0	0	0	0	11
要介護2	3	4	3	4	3	1	2	1	1	3	2	1	28
要介護3	3	3	4	4	7	8	10	9	8	5	5	4	70
要介護4	10	7	6	7	6	4	5	5	5	4	3	5	67
要介護5	4	4	3	1	3	2	2	1	1	3	5	5	34
合計	20	20	17	18	20	16	21	18	15	15	15	15	210

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	1477	1505	1469	1541	1535	1477	1510	1481	1520	1530	1386	1535	17966
稼働率	98.5%	97.1%	97.9%	99.4%	99.0%	98.5%	97.4%	98.7%	98.1%	98.7%	99.0%	99.0%	98.4%

月別入退所者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	5	0	3	3	2	1	5	3	1	4	4	2	33
退所者	5	2	1	3	1	2	4	1	2	4	3	2	30

月別目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	98.9%	97.6%	98.9%	100.3%	100.6%	98.9%	98.7%	99.5%	97.4%	102.2%	101.2%	100.3%	99.5%

行事報告

実施日	内容	参加人数	実施日	内容	参加人数
4月5日	お花見会	8名	10月4日	十五夜	20名
4月26日	紙芝居	21名	10月11日	園外散歩	6名
5月5日	端午の節句	30名	10月18日	ドライブ会	4名
5月14日	母の日	28名	10月25日	紙芝居	20名
5月19日	中学校体育祭見学	5名	11月8日	カラオケ大会	18名
6月14日	ドライブ会	5名	11月22日	紅葉ドライブ	5名
6月18日	父の日	26名	12月13日	忘年会	53名
6月28日	紙芝居	20名	" "	保育園児慰問会	24名
7月7日	七夕	23名	12月20日	クリスマス会	27名
7月26日	水遊び	6名	1月10日	初詣	39名
8月9日	盆踊り会	40名	1月17日	新年会	30名
8月23日	水遊び	6名	2月3日	節分	18名
9月13日	ショッピン	5名	3月3日	ひな祭り	17名
9月27日	ドライブ会	5名	3月21日	室内運動会	35名

各委員会実施状況

4月11日	身体拘束廃止委員会	10月4日	褥瘡予防・対策委員会
5月10日	褥瘡予防・対策委員会	11月1日	食中毒・感染防止委員会
6月7日	事故予防・安全・リスク対策委員会	12月6日	事故予防・安全・リスク対策委員会
7月5日	食中毒・感染防止委員会	1月10日	身体拘束廃止委員会
8月2日	生活環境・サービスのあり方委員会	2月7日	生活環境・サービスのあり方委員会
9月6日	看取りケア委員会	3月7日	看取りケア委員会

聖アンナショートステイサービス 入所定員 10名

《目標達成について》

目標額 34,500,000 円

達成額 30,880,060 円

達成率 89.5%

1. 利用者本位のサービスの提供

- 利用者の意向にできるだけ対応できるよう配慮した。またケアプランに沿って在宅生活と同じ生活リズムになるよう福祉用具などを有効活用し、環境整備を実施した。

2. リスク対策

- 施設での感染症（ノロウイルス、インフルエンザ）の集団感染に伴い、ショートステイの利用を一時制限したため、予定していた利用者の受入れができず、急遽他サービスへ利用変更して頂くなどご迷惑をお掛けした。
- 退所時において薬や衣類の返却忘れがあり、管理の徹底を図る必要がある。

3. 職場環境の改善

- 特養入所者の衣類と混ざってしまい、返却忘れや紛失に繋がるが多くなっていることから、ショートステイの荷物に関しては別館にて管理を行っていくよう協議していたが、年度内での実施はできなかった。
- 別館ナースコールの一部が断線している為、転局ができない状態となっており、利用者によっては空床があってもお断りせざるを得ない状況である。。

4. 外部機関との連携

- 居宅介護支援事業所との密な関係を構築し、キャンセルが出た場合など利用希望がある方を紹介してもらえるよう働きかけた。
- 訪問看護を利用している医療ニーズが高い利用者においては在宅中重度受入加算の算定を行い、在宅と一緒に看護師に関わってもらえる体制を整えた。
- 利用中は嘱託医以外にかかりつけ医師とも情報を共有し、利用後も円滑に在宅生活が送れるよう配慮した。

5. 施設運営の安定

- 居宅介護支援事業所との密な関係を構築し、キャンセルが出た場合など利用希望がある方を紹介してもらえるよう働きかけた。
- 本体施設である特養において退所があった場合について、入所希望待機者（ロングステイ利用者）を迅速に施設入所に切り替えた。

しかし、新規入所希望待機者の調整がスムーズにできなかった場合（特に7月）は空床が続き、稼働率が低下となり目標達成が難しい状況となった。

(平成29年4月～平成30年3月)

月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	4	3	3	1	2	1	4	1	2	4	3	4	32
女	16	18	14	17	18	16	19	18	13	11	12	11	183
合計	20	21	17	18	20	17	23	19	15	15	15	15	215

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援2	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4
要介護1	0	2	1	2	1	1	2	2	0	0	0	0	11
要介護2	3	4	3	4	3	1	2	1	1	3	2	1	28
要介護3	3	3	4	4	7	8	10	9	8	5	5	4	70
要介護4	10	7	6	7	6	4	5	5	5	4	3	5	67
要介護5	4	4	3	1	3	2	2	1	1	3	5	5	34
合計	20	21	17	18	20	17	23	19	15	15	15	15	215

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	277	336	253	182	265	243	246	289	297	217	225	241	3071
稼働率	92.3%	108.3%	84.3%	58.7%	85.4%	82.0%	79.3%	96.3%	95.8%	72.3%	80.3%	77.7%	84.1%

月別目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	97.9%	115.4%	93.0%	63.4%	78.2%	102.7%	84.5%	85.2%	107.7%	83.4%	78.0%	91.2%	89.5%

平成29年度

事業報告書

聖アンナヘルパーステーション

聖アンナヘルパーステーション 平成 29 年度事業報告書

1、29 年度目標額

訪問介護	25,100,000 円
障害自立支援サービス	4,800,000 円

2、29 年度達成額

訪問介護	19,711,530 円 (78.8%)
障害自立支援サービス	1,778,744 円 (37.1%)

3、目標額について

職員が疲労のため就業規則の徹底をし、訪問時間の見直しをした結果、夜朝加算が取れなくなった事。

入院をきっかけに自宅での生活が困難になりショートステイを利用し、そのまま入所など、頻回訪問の方の中止・死亡になった事。

新規依頼は短期間であったり、週 1 回など売上に繋がらなかった事などが原因かと思われます。また、職員の定年退職等で人員確保に不安があり、思うように新規獲得が出来ませんでした。

〈障害〉平成 29 年 7 月、独居で 1 日 3 回多くの時間を支援していた方が死亡された為、目標額が大幅に下がってしまう結果となりました。平成 30 年 1 月新規で、登録は 2 名となりましたが、介護保険で賄えているため障害での利用はなく売上には繋がらない結果になっています。

4、改善するために

定期的に月 1 回、収支のバランスを確認し売上と支出を把握し、新規獲得・職員確保に努める。

職員同士の伝達・報告は密にしながらも日々のコミュニケーションをとり、個々の利用者の状況を把握し、適切な介護を行なっていく。

地域ケア会議に意欲的に参加し他事業所へのアピールをしながら、新規獲得に繋げていく。

5、今後について

平成 29 年度、定年退職者又新人採用もありましたが、今後収支を考えながら職員体制を整えていく。

訪問内容が、ほぼ身体介護中心でもあります。利用者の状態をよく観察しその方に適した支援を行なっていく。

平成 30 年 4 月に身体介護の単価は上がりましたが生活援助の見直しで、訪問介護員等で代行するのではなく、安全を確保しながら常時介助が出来る状態で見守りながら行う事で、生活面で利用者と一緒に行なう事により身体介護で算定出来る様になり、生活援助の利用者が身体介護混合型に移行し売上増に繋がっていく。

利用者の状態に合わせ、自立支援のための見守りの援助を目指していく。

平成29年度地区別利用状況（介護）ヘルパーステーション													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尼寺	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
井ノ口	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	29
上野山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸小野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸宮	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	56
北	1	2	2	2	4	4	3	3	3	3	3	3	33
北山	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
国主	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
神戸	2	3	5	4	4	4	4	4	3	3	4	4	44
高尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長原	4	4	4	4	3	3	3	3	4	5	6	5	48
長山	4	4	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	27
西山	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
前田	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34
丸栖	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	42
町外	3	1	1	2	2	2	2	2	2	3	2	2	24
合計	37	35	35	35	35	35	34	33	34	34	31	30	408

平成29年度地区別利用状況（予防）													ヘルパーステーション		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
尼寺	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
井ノ口	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	9		
上野山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
岸小野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
岸宮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
北	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7		
北山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
国主	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
神戸	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
高尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鳥居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
長原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
長山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
西山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
前田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
丸栖	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	15		
町外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	7	7	7	6	5	5	4	3	3	4	4	3	58		

平成29年度地区別利用状況

ヘルパーステーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
尼寺(予防) (介護)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
井ノ口(予防) (介護)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
井ノ口(予防) (介護)	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	9
上野山(予防) (介護)	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	29
上野山(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸小野(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸小野(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸宮(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸宮(予防) (介護)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	56
北(予防) (介護)	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
北(予防) (介護)	1	2	2	2	4	4	3	3	3	3	3	3	33
北山(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北山(予防) (介護)	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
国主(予防) (介護)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
国主(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
神戸(予防) (介護)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
神戸(予防) (介護)	2	3	5	4	4	4	4	4	3	3	4	4	44
高尾(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高尾(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥居(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥居(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長原(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長原(予防) (介護)	4	4	4	4	3	3	3	3	4	5	6	5	48
長山(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長山(予防) (介護)	4	4	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	27
西山(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西山(予防) (介護)	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
前田(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前田(予防) (介護)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34
丸栖(予防) (介護)	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	15
丸栖(予防) (介護)	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	42
町外(予防) (介護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町外(予防) (介護)	3	1	1	2	2	2	2	2	2	3	2	2	24
合計(予防) (介護)	7	7	7	6	5	5	4	3	3	4	4	3	58
	37	35	35	35	35	35	34	33	34	34	31	30	408

月別地区別一覧

	尼寺	井ノ口	上野山	岸小野	岸宮	北	北山	国主	神戸	高尾	鳥居	長原	長山	西山	前田	丸栖	町外	合計
4月	介護 1	4 1	0 0	0 0	5 0	1 1	2 0	0 1	2 1	0 0	0 0	4 0	4 0	2 0	3 0	5 2	3 0	37 7
5月	介護 1	4 1	0 0	0 0	5 0	2 1	1 0	0 1	3 1	0 0	0 0	4 0	4 0	3 0	3 0	4 2	1 0	35 7
6月	介護 1	3 1	0 0	0 0	5 0	2 1	1 0	0 1	5 1	0 0	0 0	4 0	3 0	3 0	3 0	4 2	1 0	35 7
7月	介護 1	2 1	0 0	0 0	5 0	2 1	2 0	0 1	4 0	0 0	0 0	4 0	3 0	3 0	3 0	4 2	2 0	35 6
8月	介護 1	2 1	0 0	0 0	5 0	4 1	2 0	0 1	4 0	0 0	0 0	3 0	2 0	3 0	3 0	4 1	2 0	35 5
9月	介護 1	2 1	0 0	0 0	5 0	4 1	2 0	0 1	4 0	0 0	0 0	3 0	2 0	3 0	3 0	4 1	2 0	35 5
10月	介護 1	2 0	0 0	0 0	5 0	3 1	2 0	0 1	4 0	0 0	0 0	3 0	2 0	3 0	3 0	4 1	2 0	34 4
11月	介護 1	2 0	0 0	0 0	5 0	3 0	2 0	0 1	4 0	0 0	0 0	3 0	2 0	3 0	3 0	3 1	2 0	33 3
12月	介護 1	2 0	0 0	0 0	5 0	3 0	2 0	0 1	3 0	0 0	0 0	4 0	2 0	3 0	3 0	3 1	2 0	34 3
1月	介護 1	2 1	0 0	0 0	5 0	3 0	2 0	0 1	3 0	0 0	0 0	5 0	1 0	3 0	3 0	3 1	3 0	34 4
2月	介護 1	2 1	0 0	0 0	3 0	3 0	2 0	0 1	4 0	0 0	0 0	6 0	1 0	3 0	2 0	2 1	2 0	31 4
3月	介護 1	2 1	0 0	0 0	3 0	3 0	2 0	0 1	4 0	0 0	0 0	5 0	1 0	3 0	2 0	2 0	2 0	30 3
合計	13 12	29 9	0 0	0 0	56 0	33 7	22 0	1 12	44 3	0 0	0 0	48 0	27 0	35 0	34 0	42 15	24 0	408 58

年齢別利用状況

平成 29 年度
ヘルパーステーション

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	計
65歳未満	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	12
65歳～70歳	3 0	3 0	3 0	2 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 1	1 1	0 1	21
70歳～75歳	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	2 0	13
75歳～80歳	5 1	4 1	4 1	4 1	4 1	4 1	3 1	3 0	3 0	4 0	3 0	2 0	50
80歳～85歳	7 5	7 5	7 5	7 4	8 3	8 3	7 3	5 3	5 3	4 3	5 3	6 2	118
85歳～90歳	9 1	9 1	8 1	9 1	9 1	9 1	10 0	11 0	11 0	12 0	11 0	10 0	124
90歳～95歳	7 0	8 0	9 0	8 0	8 0	8 0	8 0	8 0	9 0	8 0	6 0	6 0	93
95歳～100歳	4 0	2 0	2 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	35
100歳以上	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0
合計	37 7	35 7	35 7	35 6	35 5	35 5	34 4	33 3	34 3	34 4	31 4	30 3	466

要介護度別利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	介護 予防	計
要支援1	0 3	0 3	0 3	0 3	0 2	0 2	0 1	0 1	0 1	0 1	0 1	0 1	22
要支援2	0 4	0 4	0 4	0 3	0 3	0 3	0 3	0 2	0 2	0 3	0 3	0 2	36
要介護1	10 0	10 0	9 0	8 0	9 0	9 0	8 0	8 0	8 0	6 0	7 0	7 0	99
要介護2	9 0	9 0	8 0	9 0	9 0	9 0	9 0	8 0	10 0	10 0	8 0	8 0	106
要介護3	4 0	5 0	6 0	5 0	6 0	6 0	6 0	6 0	5 0	6 0	4 0	4 0	63
要介護4	8 0	6 0	8 0	8 0	6 0	6 0	6 0	7 0	7 0	7 0	6 0	5 0	80
要介護5	6 0	5 0	4 0	5 0	5 0	5 0	5 0	4 0	4 0	5 0	6 0	6 0	60
合計	37 7	35 7	35 7	35 6	35 5	35 5	34 4	33 3	34 3	34 4	31 4	30 3	466

平成 2 9 年度

事業報告書

聖アンナ老人訪問看護ステーション

聖アンナ老人訪問看護ステーション 事業報告書

1.29年度目標額 45,000,000 円

2.29年度達成額 40,330,072 円

3.目標達成に至らなかった理由について

- ・目標設定時点の人材数は正看護師6名 准看護師1名
看護職員の増員により述べ訪問件数の増加は可能となる。
新規の依頼に対応できたことが、大きな要因です。又重症者の対応で述べ訪問件数・登録者数が増加したことも良かった点ですが介護保険での訪問件数の増加が今後の課題。4月・7月の訪問件数が少なくなっていたことも要因
- ・延べ訪問件数の設定は月当たり400件訪問の計画で実際は月平均496件
介護報酬は30分訪問が多く、1件当たりの単価が少なかった。医療の訪問は増加している。
加算の算定できる利用者の獲得も今後の課題と考える

4.事業計画の実施について

- ・これからの方向性は医療従事者と利用者様・家族様の双方に医療とは両者の共同作業であるという視点に立ちケアを行う
- ・住み慣れた地域でその人らしく生活し、希望する生き方を選択し在宅での看取りが選べるようにする
- ・個人の尊厳の保持を支えていく
- ・地域に密着した事業所であることを基本とし社会資源の活用等のアドバイスを実施

以上のことを踏まえ

- ・訪問看護の更なる普及を目指す。
- ・多様な在宅医療ニーズに対応できるように専門性の深化に努める。
- ・個別ニーズに対応する為利用者様の声に耳を傾け次のサービスへの展開を念頭に置く。
- ・新規利用者さまの獲得に向け、PR活動の強化。
- ・在宅診療に熱心な主治医との連携強化。
- ・研修への積極的参加により質の向上を図る。
- ・新規採用職員の教育により質の向上を図るとともに意欲ある優秀な人材育成に努める。
- ・ショートステイ中の方や小規模多機能型通所介護との連携を深め利用者獲得を図る。
- ・他職種との連携強化→聖アンナ老人訪問看護の認知度を高める。
- ・緊急時や夜間帯の対応の強化を図り、加算を確実に算定できるようにする。
- ・予防の観点からも早期からの利用の促進を図る→ケアマネへの働きかけ。
- ・24時間、対応できる体制があることや重症者の受け入れを積極的に行い、医療介護のケアマネジメント機能を発揮、地域全体の在宅療養生活の環境整備に貢献していく。
- ・精神科訪問看護の利用者の確保

聖アンナ老人訪問看護ステーション実績報告書 H 29 年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	58	58	57	54	54	52	52	58	61	61	60	59	684
(男)	20	19	19	18	16	17	16	16	20	21	23	22	227
(女)	38	39	38	36	38	35	36	42	41	40	37	37	457
新規利用者	7	4	5	2	2	4	2	7	8	6	5	5	57
再開	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	6
利用終了者	3	3	3	1	3	1	0	2	3	6	5	3	33
中止	0	3	3	0	0	1	4	2	0	1	2	3	19
延べ訪問回数	481	548	406	396	453	414	452	479	522	490	459	481	5581
国保(老人以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国保(老人)	9	10	9	8	11	9	11	11	16	15	13	9	131
社保	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
介護	51	54	50	48	47	45	45	51	51	50	48	50	590

聖アンナ老人訪問看護ステーション

実績内訳(男)

H29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	20	19	19	18	16	17	16	16	20	21	23	22	227
平均年齢	82	82	82	82	82	81	83	83	83	83	85	85	83
外	5	5	5	5	6	7	6	5	6	7	7	7	71
西山	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
長山	3	3	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	28
長原	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	4	21
烏居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岸宮	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
前田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神戸	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	13
国主	1	1	1	1	1	0	1	1	2	1	1	0	11
上野山	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
尼寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
高尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
岸小野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
井ノ口	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
丸栖	4	4	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	42
北山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	14
介護2	2	2	2	1	1	2	2	1	0	0	1	1	15
介護3	4	4	3	3	2	1	1	1	1	1	2	3	26
介護4	3	3	3	4	3	3	3	4	5	5	5	5	46
介護5	6	6	6	6	6	5	5	6	7	7	6	6	72
医療	5	5	6	5	7	7	5	5	9	10	7	8	79
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	7

平成 2 9 年度

事業報告書

社会福祉法人聖アンナ福祉会

1 29年度目標額と達成度

目標額 40,406,640円

達成額 40,304,830円

目標に対しての達成率 99.7%

2 目標達成について

年間を通しては、新規含め初回加算に該当する対応は目標件数を上回ったが、1月からの減員により、急きょ利用者30名を振り分けたため、新規相談に対応しきれなくなり、包括からの紹介4件を断わった。

額面上では未達成であるが、事業所の利益率はアップとなった。

3 29年度の重点的取組

①目標額達成のため、現状の職員体制（常勤換算7.5名）、主任介護支援専門員2名以上を確保し、特定事業所加算算定要件をクリアする。

②委託業務は、介護予防支援及び新設の介護予防ケアマネジメント、認定調査とし、認定調査については、今後、チェックリスト方式が主流となる予測及び既に通常のサービス実施地域を紀の川市に限定したことからも、特別な事情がない限り他市町村からの委託は受けず縮小方針としたい。

③介護予防及び介護予防マネジメント事業については、前年度に引き続き、非常勤職員による専属業務とし、業務上の煩雑さを避けるためにも介護支援業務との区別化を図ることとする。

④居宅介護支援事業は、収支バランス及び特定事業所加算（Ⅰ）を算定することが利益計上の鍵と考えるが、昨年度より、特定事業所加算には新たな追加要件が導入され、実習生受け入れ制度、その指導にあたる主任ケアマネの更新制度が設けられ、個人の能力はもちろん、加算継続のハードルが高くなってきていることは今後の事業運営の課題となりえる。

⑤当事業所の介護支援専門員は、法令順守および個人情報取扱いには十分に配慮し、この職種に従事するかぎり、能力、人格ともに優れた人材でなければ務まらないという理念のもと、法定研修、その他の一般研修、地域や医療機関主催の勉強会等への積極的参加、他職種との連携、交流に尽力し、一層の自己研鑽に努めることとする。

4 重点的取組の実施状況

①について

現状の職員体制は職員の諸事情により維持することはできなかったが、主任介護支援専門員の継続的な確保のもと、9月に実施された実地指導においても

減算対象や大きな課題を残すことなく特定事業所加算要件をクリアすることができた。

②について

紀の川市および和歌山市、海南市からの要望にも柔軟に対応し、認定調査委託業務の実施において目標額を達成している。

③について

介護支援業務との区別化により課題なく業務遂行することができた。

④について

29年度は主任介護支援専門員がフル稼働し4名の実習生の受け入れを実施した。主任介護支援専門員の更新は業務の都合上、30年度に持ち越しし、2名が受講予定。新たに1名の新規受講を予定している。

⑤について

包括ケア会議、その他の一般研修、医療機関主催の勉強会への積極的な参加を実行し、他職種との連携強化に努めることができた。

5 今後の課題

30年度の法改正により、介護支援専門員の課すべき義務が追加されており、医療連携においては努力義務ではなく必須化されている。また居宅サービス事業所加算の新設が多数設置され、その算定のための担当者会議の開催、ケアプランの変更に追われることとなる。各介護支援専門員の抱えるストレスにも十分配慮し、業務の効率化と適切な書類管理の手段を明確にする必要がある。

※介護給付の部

(その他の地域単位 = 10.00 計算)

	介護給付 請求件数	介護給付内訳		加 算 内 訳								月請求金額
		I 型	II 型	特事 I	初回	入連 I	入連 II	退院退所	小多連	看小多連	緊力	
		1042単位	1353単位	500単位	300単位	200単位	100単位	300単位	300単位	300単位	200単位	
4月	180	89	91	180	8			1				¥3,085,610
5月	189	93	96	189	10			1				¥3,263,470
6月	194	100	94	194	8			2				¥3,313,820
7月	182	89	93	182	8			1				¥3,122,670
8月	186	90	96	186	6			1				¥3,187,680
9月	188	88	100	188	6							¥3,227,960
10月	192	94	98	192	6	1	1	1				¥3,289,420
11月	187	89	98	187	9	1		2				¥3,223,320
12月	192	94	98	192	10							¥3,297,420
1月	189	93	96	189	8		2	2				¥3,246,940
2月	184	89	95	184	5			4				¥3,159,730
3月	180	87	94	180	9			1				¥3,113,360
	再請求マイナス	-4	-5	-9	-5							
計	2243	1091	1144	2234	88	2	3	16	0	0	0	¥38,531,400

-21530
-21530
-15420
-37060
-17420
-18420
-41950
-173330

※委託事業の部

	予防支援及 び ケアマネジメント A	初回 300単位	予防請求額 430単位	認定調査件数	調査請求額 ¥3,150	月請求金額
4月	32		¥137,600	16	¥51,840	¥189,440
5月	27		¥116,100	11	¥35,640	¥151,740
6月	28	1	¥123,400	13	¥42,120	¥165,520
7月	26		¥111,800	19	¥61,560	¥173,360
8月	27		¥116,100	14	¥45,360	¥161,460
9月	27		¥116,100	17	¥55,080	¥171,180
10月	25		¥107,500	24	¥77,760	¥185,260
11月	22		¥94,600	9	¥29,160	¥123,760
12月	25	2	¥113,500	13	¥42,120	¥155,620
1月	25		¥107,500	21	¥68,040	¥175,540
2月	25		¥107,500	13	¥42,120	¥149,620
3月	23		¥98,900	13	¥45,360	¥144,260
計	312	3	¥1,350,600	183	¥596,160	¥1,946,760

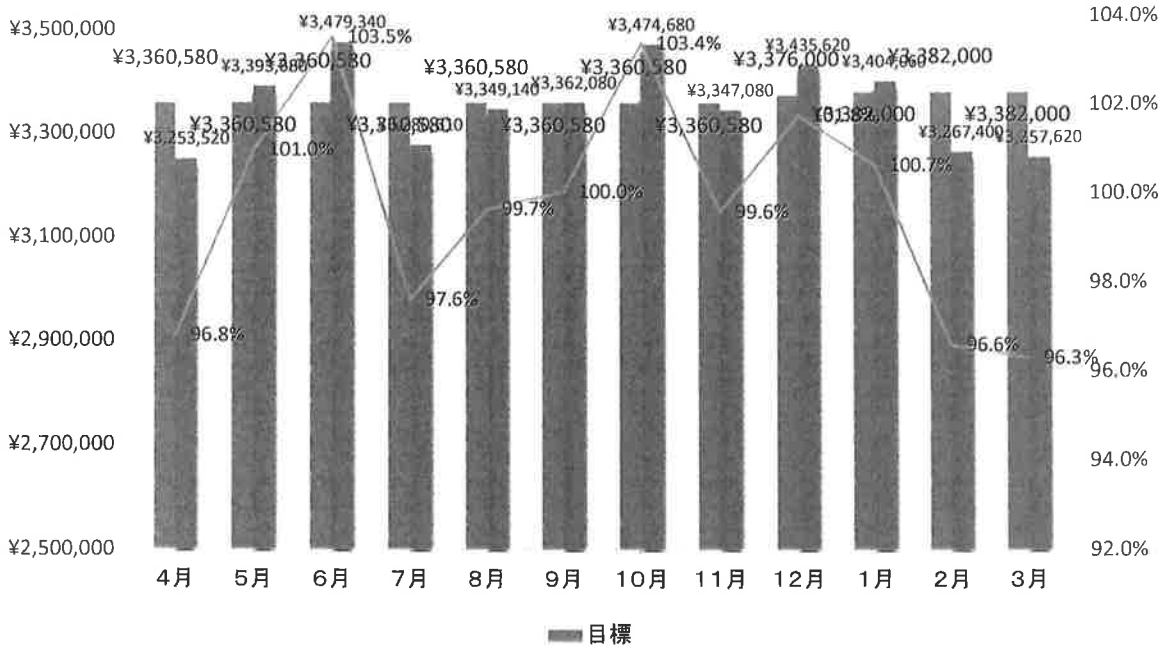
※月別目標額

	月 別	累 計
4月	¥3,275,050	¥3,275,050
5月	¥3,415,210	¥6,690,260
6月	¥3,479,340	¥10,169,600
7月	¥3,296,030	¥13,465,630
8月	¥3,349,140	¥16,814,770
9月	¥3,399,140	¥20,213,910
10月	¥3,474,680	¥23,688,590
11月	¥3,347,080	¥27,035,670
12月	¥3,453,040	¥30,488,710
1月	¥3,422,480	¥33,911,190
2月	¥3,309,350	¥37,220,540
3月	¥3,257,620	¥40,478,160
再請求マイナス調整	¥-173,330	¥-173,330
合計	¥40,304,830	¥40,304,830

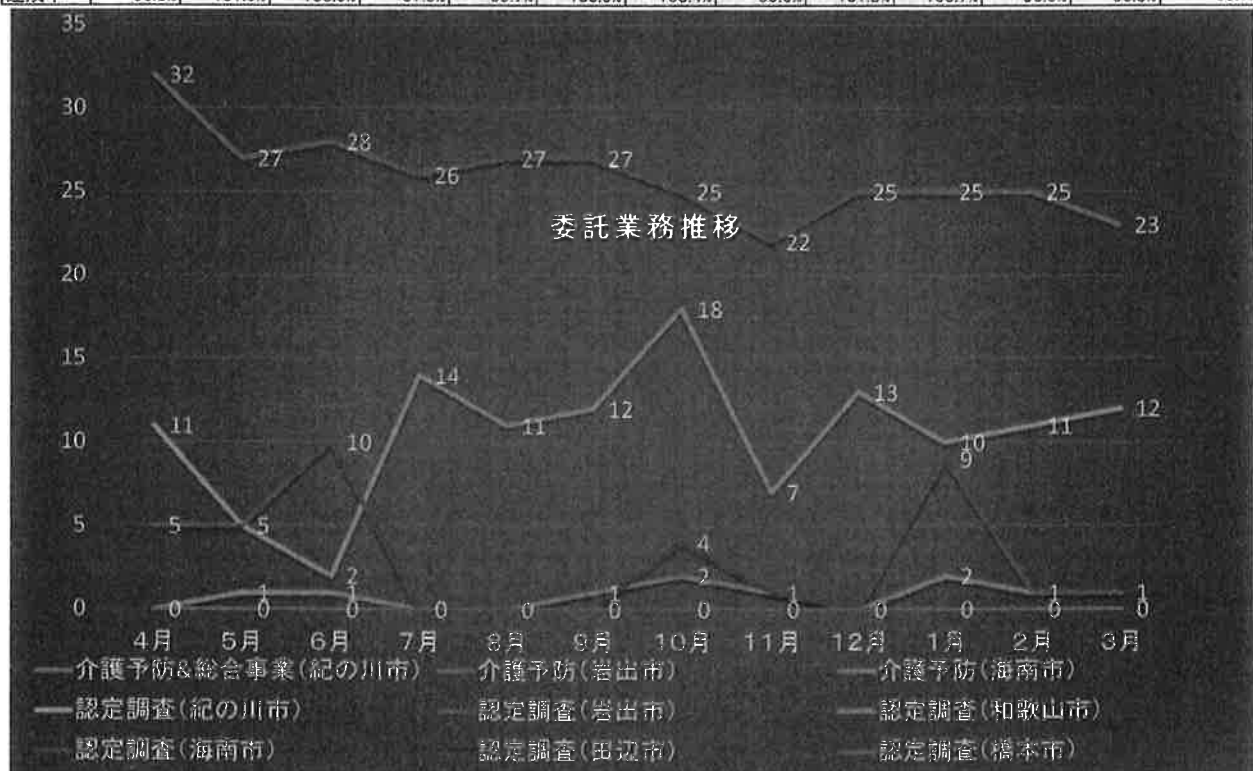
-21530
-21530
-15420
-37060
-17420
-18420
-41950
-173330

月次目標達成度

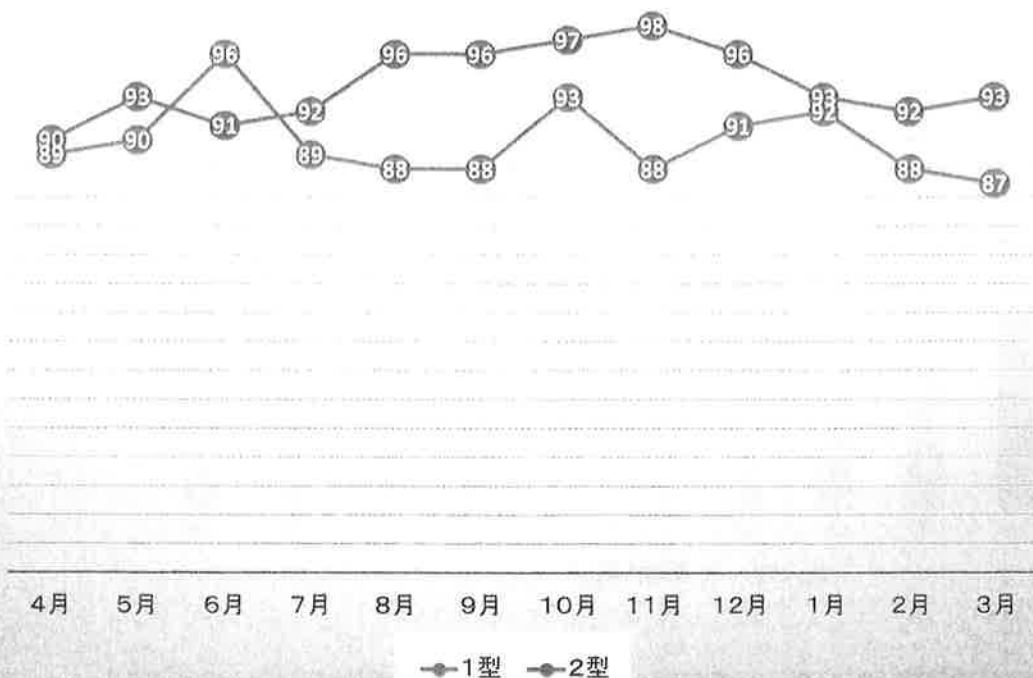
106.0%



月次目標達成率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間累計
目標	¥3,360,580	¥3,360,580	¥3,360,580	¥3,360,580	¥3,360,580	¥3,360,580	¥3,360,580	¥3,360,580	¥3,376,000	¥3,382,000	¥3,382,000	¥3,382,000	40,406,840
実績	¥3,253,520	¥3,393,680	¥3,479,340	¥3,280,810	¥3,349,140	¥3,362,080	¥3,474,680	¥3,347,080	¥3,435,620	¥3,404,060	¥3,267,400	¥3,257,620	40,304,830
前月比		104.3%	102.5%	94.3%	102.1%	100.4%	103.3%	96.3%	102.6%	99.1%	96.0%	99.7%	
達成率	96.8%	101.0%	103.5%	97.6%	99.7%	100.0%	103.4%	99.6%	101.8%	100.7%	96.6%	96.3%	99.7%

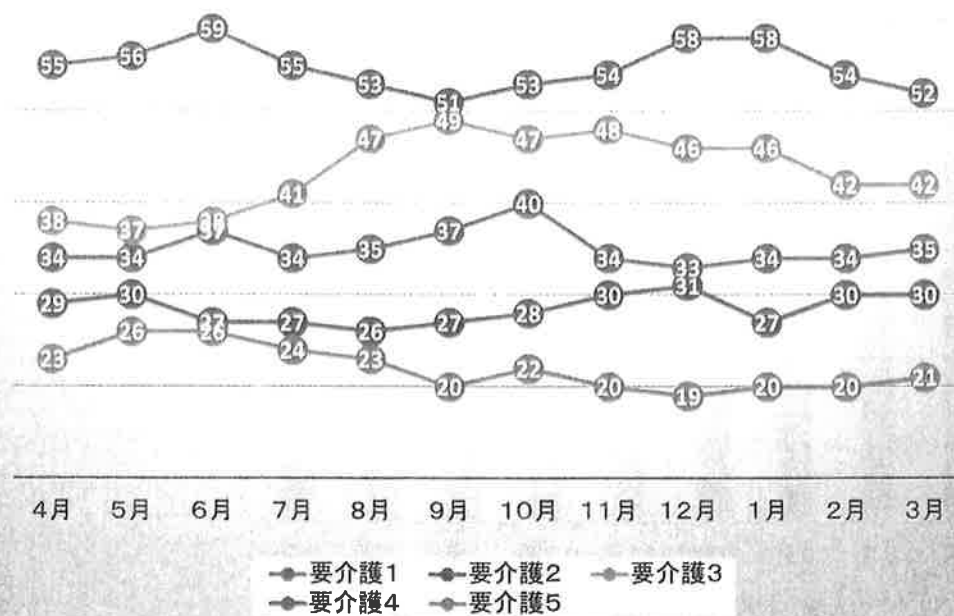
[illegible]

I 型・II 型推移



型・2型推	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1型	89	90	96	89	88	88	93	88	91	92	88	87
2型	90	93	91	92	96	96	97	98	96	93	92	93

介護度別推移



介護度推	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	34	34	37	34	35	37	40	34	33	34	34	35
要介護2	55	56	59	55	53	51	53	54	58	58	54	52
要介護3	38	37	38	41	47	49	47	48	46	46	42	42
要介護4	29	30	27	27	26	27	28	30	31	27	30	30
要介護5	23	26	26	24	23	20	22	20	19	20	20	21

平成29年度

事業報告書

デイサービスセンターたかお

平成29年度デイサービスセンターたかお事業報告書

1. 29年度目標額：56,400,000円

2. 29年度売上額：52,519,417円

3. 達成率93.1%

4. 目標不達成について

- ・利用者全体の体調不良などの稼働率の低迷。(インフルエンザなど)
- ・既存利用者について他事業所への利用移行。
(ショートステイ、デイサービス、施設入所、サービス高齢者住宅等)
- ・高齢での死亡率アップ
- ・毎日利用者の減少など

5. 事業計画の実施について

1. 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス

2. 年末年始を除く月曜日から土曜日、祝祭日の事業の実施。

3. 介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、利用者一人ひとりの身体的・精神的状況やニーズを把握し、当事業所にて通所介護計画書を作成し、そのサービスを提供することが出来た。

また、各利用者の担当医に対して看護師より一ヶ月ごとに利用状況報告書を提出しており、各主治医との連携が図れた。

4. 常日ごろから利用者家族と積極的にコミュニケーションをとる事により、信頼関係を築き、お互いに協力し合える環境作りができた。

5. 日々のレクリエーションの中で個々の利用者の状況や好みに応じた選択メニューを作り参加して頂く。また、四季折々の行事を計画し、特に野外行事では、毎月のショッピングやドライブ会、お花見会やバス遠足を計画し実践した。

(デイサービスセンターたかお)

平成29年度 通所介護事業 (要介護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ) 集計 平成29年4月1日～平成30年3月31日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員 (月 間)				実 施 日 数	一日当り 平均人数
				基本事業	入 浴	食 事			
4月	50	463	719	463	286	433		25	18.5
5月	51	500	814	500	332	482		27	18.5
6月	47	466	736	466	296	440		26	17.9
7月	50	483	752	483	313	439		26	18.5
8月	50	476	733	476	303	430		27	17.6
9月	57	492	763	492	317	446		26	18.9
10月	54	479	699	479	264	435		26	18.4
11月	55	451	656	451	271	385		26	17.3
12月	51	418	667	418	264	403		25	16.7
1月	46	335	508	335	214	294		24	13.9
2月	46	363	556	363	224	332		24	15.1
3月	41	398	607	398	243	364		27	14.7
合 計	598	5324	8210	5324	3327	4883		309	17.1

(デイサービスセンターたかお)
 平成29年度 介護予防通所介護相当サービス事業 (事業対象者・要支援1・2)
 集計 平成29年4月1日～平成30年3月31日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員 (月 間)			
				基本事業	食 事	実 施 日 数	一 日 当 り 平 均 人 数
4月	27	135	135	135	135	25	5.4
5月	28	153	153	153	153	27	5.6
6月	31	197	197	197	197	26	7.5
7月	29	171	171	171	171	26	6.5
8月	29	189	189	189	189	27	7.0
9月	28	160	160	160	160	26	6.1
10月	26	152	152	152	152	26	5.8
11月	27	168	168	168	168	26	6.4
12月	26	163	163	163	163	25	6.5
1月	27	142	142	142	142	24	5.9
2月	26	155	155	155	155	24	6.4
3月	27	183	183	183	183	27	6.7
合 計	331	1968	1968	1968	1968	309	6.3

年間行事表

デイサービスセンターたかお

	行 事	行き先・メニュー	実施日
4月	お花見会	貴志川スポーツ公園	5(水) 6(木) 7(金)
	お花見ドライブ会	紀美野町方面	5(水) 6(木) 7(金)
	クッキング	ブロッコリーとじゃこの豆腐おやき	12(水) 13(木) 14(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	19(水) 20(木) 21(金)
5月	ゲーム大会	デイフロア	3(水) 4(木) 5(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	10(水) 11(木) 12(金)
	よもぎ餅つき会	デイフロア	17(水) 18(木) 19(金)
	スコップ三味線	デイフロア	27(土)
6月	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	7(水) 8(木) 9(金)
	お楽しみ演芸会	デイフロア	14(水) 15(木) 16(金)
	動物ふれあいドライブ会	ふれあい公園	21(水) 22(木) 23(金)
	クッキング	デイフロア	31(水) 1(木) 2(金)
7月	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	7(水) 8(木) 9(金)
	納涼流しそうめん	デイフロア	12(水) 13(木) 14(金)
	クッキング	わらびもち	19(水) 20(木) 21(金)
	桃試食ツアードライブ会	八旗農園	26(水) 27(木) 28(金)
8月	クッキング	ブルルン	2(水) 3(木) 4(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	9(水) 10(木) 11(金)
	そよ風クラブ慰問	デイフロア	24(水)
	室内盆踊り大会	デイフロア	16(水) 17(木) 18(金)
9月	ビンゴ大会	デイフロア	30(水) 31(木) 1(金)
	クッキング	ミニピザ	6(水) 7(木) 8(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	13(水) 14(木) 15(金)
	有明会慰問	デイフロア	22(金)
10月	ドライブ会	美里町方面	27(水) 28(木) 29(金)
	クッキング	揚げないホクホク大学芋	4(水) 5(木) 6(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	11(水) 12(木) 13(金)
	秋季バス遠足	柿の里くどやま	18(水) 19(木) 20(金)
11月	クッキング	焼きりんごパンケーキ	1(水) 2(木) 3(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	8(水) 9(木) 10(金)
	室内運動会	デイフロア	15(水) 16(木) 17(金)
	紅葉ドライブ会	根来寺～元気の森	22(水) 23(木) 24(金)
12月	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	6(水) 7(木) 8(金)
	忘年会	デイフロア	13(水) 14(木) 15(金)
	クリスマス会	デイフロア	21(水) 22(木) 23(金)
1月	初詣	竈山神社	10(水) 11(木) 12(金)
	新年会	デイフロア	17(水) 18(木) 19(金)
	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	24(水) 25(木) 26(金)
2月	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	7(水) 8(木) 9(金)
	クッキング	はっさく餅	14(水) 15(木) 16(金)
	伊太祁曽神社参拝	伊太祁曽神社	21(水) 22(木) 23(金)
	マジックショー	デイフロア	28(水)
3月	ショッピング	松源・ダイソー貴志川店	7(水) 8(木) 9(金)
	クッキング	豆腐とバナナのマフィン	14(水) 15(木) 16(金)
	よもぎ摘み	竹房橋河川敷	21(水) 22(木) 23(金)
	映画鑑賞会	デイフロア	28(水) 29(木) 30(金)

※毎月の行事

ショッピング、ドライブ会、クッキング
民謡

平成29年度

事業報告書

グループホームたかお

グループホームたかお 平成29年度事業報告書

1.29年度目標額 32,200,000 円

2.29年度達成額 32,978,740 円

102.4%

3.目標達成について

- 平成29年10月、女性入居者1名が認知症状の悪化に伴い、特養の入所となりました。その際、特養から要介護度2の入所者同士のトレードを速やかに実施した結果、空床状態がなしでした。
- 平成29年12月、男性入居者1名がレビー小体型認知症の症状悪化に伴い、緊急入院となる。その際、速やかな新規入居者の入居が決定した為、空床がほとんどない状態であった。
- 平成30年3月現在、6名の入居申し込み者を確保している。

4.事業計画の実施について

- (1)運営推進会議を年間6回開催。
定期的に地域住民の方や関係者の方と係る機会をもつことで当施設への理解が深まり、また積極的な地域参加に繋がっている。
- (2)地域参加について
屋外行事への参加には、平池緑地公園への蓮の花見学会や同敷地内のデイサービス利用者と合同の民謡会やドライブ会に参加。
- (3)レクリエーションの充実
 - ①個人に合ったレクリエーションの提供は、個別支援として対応できた。
 - ②家庭菜園について、多種の野菜づくりに取り組むことができた。
- (7)ボランティアの活用
紙芝居ボランティア 年間6回開催。
民謡ボランティア デイサービスと合同 毎月1回開催。
- (8)地域密着型外部評価サービス
本年度、外部評価は実施しておりません。

入居者状況

(H29年4月～H30年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
女	7	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	98
合計	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107

要介護度別状況

(H29年4月～H30年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21
要介護 2	3	3	3	3	3	3	2	2	4	5	5	5	41
要介護 3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	28
要介護 4	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	17
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
平均	2.1	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.6	2.6	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4

平成29年度

事業報告書

外出支援サービス

平成29年度 外出支援事業報告書

1. 29年度目標額 948,000円

2. 29年度達成額 1,011,000円

目標額に対しての達成率 106%

3. 目標達成について

- ・定期利用者が安定的に確保でき、また新規利用者も定期的に獲得できたため。

4. 事業計画の実施について

- ・相談、問い合わせについて、新規及び利用者等からの相談があった場合には迅速に対応することで対処してきました。

5. 運行管理について

- ・始業時に車両点検を実施し、安全運転に心掛け、利用者に不安感を与えないようにしてきました。

6. 予約・調整について

- ・本人、家族、ケアマネジャーとの連携を図り、スムーズな運営(日程調整等)に努めてきました。

以上

平成29年度 外出支援事業実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紀の川市 岩出市	男	5	6	8	8	11	10	12	10	9	9	11	14	113
	女	8	7	4	8	10	5	6	7	4	4	4	3	70
	計	13	13	12	16	21	15	18	17	13	13	15	17	183
和歌山市	男	7	8	5	4	8	5	9	6	6	5	6	4	73
	女	5	4	3	6	5	4	7	4	4	5	4	5	56
	計	12	12	8	10	13	9	16	10	10	10	10	9	129
合計	男	12	14	13	12	19	15	21	16	15	14	17	18	186
	女	13	11	7	14	15	9	13	11	8	9	8	8	126
	計	25	25	20	26	34	24	34	27	23	23	25	26	312
請求金額		86,000	86,000	64,000	82,000	107,000	75,000	116,000	84,000	76,000	76,000	80,000	79,000	1,011,000

平成29年度

事業報告書

地域密着特別養護老人ホーム きしがわ園

平成 29 年度 地域密着特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書（案）

1. 29 年度目標額 74,200,000 円

2. 29 年度達成額 72,045,826 円

3. 目標に対しての達成率 97%

4. 目標達成について

今年度は利用日数 6917 で内、空床は 383 床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内 9 床のみとなっている。（尚、地域密着特別養護老人ホームきしがわ園の 29 年度達成額には含まれていない。）

職員一同が努力し、迅速に対応する事で事故を未然に防げた事が達成率 97% の要因と考えられる。

残り 3 % の要因として今年度は入退所が非常に多い点が挙げられる、毎月のように入退所があり、入所者が決まらず円滑に進まなかった時期もあり、年間の入所者では 17 人、退所者は 17 人となっている、また入所予定だった方、入院後の状態悪化により退院が伸びるケースもあり、退院の目処がつきにくく、空床利用が上手く利用者のニーズに合わず、利用できなかった事が挙げられる。

また状態の著しい低下により、嚥下困難、夜間の痰吸引等の医療ニーズが発生した場合に施設の受け入れ態勢が整っておらず、他の医療の整った施設や医療機関等へ移られる方が多かった点も挙げられる、今後はこの点も検討課題にし目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できました。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスでき

る時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴し、体調不良等で入浴できない方の場合には日程変更等して実施を行った。

- ③ レクリエーション、行事についてはその季節に合わせた内容で行い、入居者が楽しく過ごして頂けるよう努めた。
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生のリスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。

7. 虐待防止

平成28年度は2階（ユニット型）で虐待が疑われるケースがあり、紀の川市にも入ってもらい調査を受けている。

同様の虐待が起こらないよう、今後も高齢者虐待防止法を職員に周知し、虐待防止に向けた研修を定期的に取り組む事が必要であると考えている。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

入居者の介護度の重度化、事故対策検討会議の定期的開催により1つ1つの

年間行事実績報告書(平成29年度)

地域密着きしがわ園

月 日	行 事	参加者数
4月1日	お誕生日会	14名
4月9日	お誕生日会	14名
4月29日	お誕生日会	15名
4月10日	ピュアカットサービス	8名
4月26日	習字	7名
5月5日	端午の節句会	16名
5月14日	母の日会	15名
5月8日	ピュアカットサービス	5名
5月31日	お誕生日会	11名
6月1日	お誕生日会	12名
6月9日	お誕生日会	
6月24日	お誕生日会	15名
6月28日	お誕生日会	
6月12日	ピュアカットサービス	
6月18日	父の日会	14名
7月10日	ピュアカットサービス	11名
7月5日	書道	9名
7月7日	七夕会	13名

月 日	行 事	参加者数
8月18日	お誕生日会	10名
8月14日	ピュアカットサービス	7名
9月17日	施設敬老会	20名
9月27日	お誕生日会	13名
9月14日	ピュアカットサービス	
9月6日	書道	8名
10月15日	お誕生日会	9名
10月29日	施設秋祭り	19名
10月9日	ピュアカットサービス	7名
11月13日	ピュアカットサービス	

月 日	行 事	参加者数
12月13日	忘年会	
12月25日	クリスマス会	13名
12月6日	外部ボランティア慰問	16名
12月11日	ピュアカットサービス	
1月3日	お誕生日会	16名
1月24日	新年会	18名
1月9日	ピュアカットサービス	12名
2月3日	節分	13名
2月7日	お誕生日会・ケーキの日	14名
2月12日	ピュアカットサービス	
3月3日	雛祭り	
3月7日	お誕生日会・ケーキの日	17名
3月9日	ピュアカットサービス	9名

理美容についてはびゅあカットサービスの出張サービスにより随時行っている。

地域密着特別養護老人ホームきしがわ園・入所・退所状況

退所者在所期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

性別		名前	入所	退所	在所日数	在所期間
女	退	A	H24/09/07	H29/04/02	1668日	4年6ヶ月26日
女	退	B	H28/11/22	H29/04/08	137日	0年4ヶ月17日
女	退	C	H28/03/07	H29/04/23	412日	1年1ヶ月16日
女	退	D	H29/05/08	H29/05/14	6日	0年0ヶ月6日
女	退	E	H24/09/11	H29/06/10	1733日	4年8ヶ月30日
男	退	F	H27/06/09	H29/06/12	734日	2年0ヶ月3日
女	退	G	H25/06/06	H29/06/21	1476日	4年0ヶ月15日
女	退	H	H29/02/09	H29/07/02	143日	0年4ヶ月23日
女	退	I	H29/04/20	H29/08/02	104日	0年3ヶ月13日
女	退	J	H29/07/14	H29/08/27	44日	0年1ヶ月13日
女	退	K	H29/03/07	H29/09/04	181日	0年5ヶ月28日
女	退	L	H24/09/04	H29/09/07	1829日	5年0ヶ月3日
男	退	M	H29/05/29	H29/11/15	170日	0年5ヶ月17日
女	退	N	H29/06/23	H29/12/06	166日	0年5ヶ月13日
女	退	O	H25/05/17	H30/01/29	1718日	4年8ヶ月12日
女	退	P	H30/02/02	H30/03/07	33日	0年1ヶ月5日
男	退	Q	H29/06/19	H30/03/19	273日	0年9ヶ月0日

男	3名	女	14名	合計 17名
---	----	---	-----	--------

年間入所者数 平成29年4月1日～平成30年3月31日

女	入	A	H29/04/20			
女	入	B	H29/05/08			
男	入	C	H29/05/22			
男	入	D	H29/05/29			
男	入	E	H29/06/19			
女	入	F	H29/06/23			
女	入	G	H29/07/03			
女	入	H	H29/07/14			
女	入	I	H29/08/09			
女	入	J	H29/09/07			
女	入	K	H29/10/23			
女	入	L	H29/11/07			
男	入	M	H29/11/17			
女	入	N	H29/12/13			
女	入	O	H30/02/02			
女	入	P	H30/03/08			
男	入	Q	H30/03/22			

男	5名	女	12名	合計 17名
---	----	---	-----	--------

地域密着特別養護老人ホーム

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所前状況	居宅	1	3	2	1	1	1	1	0	1	0	1	2	14
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	介護老人福祉施設	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入所前状況の合計	1	3	2	2	1	1	1	2	1	0	1	2	17

[illegible]

内 象 年 度

下
合
...
檢
査
理
入
下
一
十

[illegible]

入所／退所状況年間集計一覧表

2018/05/09 17:35:
3 / 3

対象年度 : 平成29年度

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ

サービス種類: 全て

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所後状況	介護療養型医療施設入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所後状況の合計	3	1	3	1	2	2	0	1	1	1	0	2	17

利用者平均要介護度

対象年度 : 平成29年度

サービス種類 : 全て

2018/05/09 19:08:11 / 2

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均要介護度	男	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8	4.0
	女	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3
	平均	4.1	4.1	4.1	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2

(注1) 該当月末日時時点の有効な要介護度より算出しています。 (注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

年齢階層別利用者状況表

2018/05/09 18:10:05

1 / 1

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ園

実績期間 : 平成30年03月01日 ~ 平成30年03月31日

基準日 : 平成30年03月31日

サービス種類 : 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活
介護

年齢	男性	女性	計
65才未満	0	0	0
65～70	1	0	1
70～75	0	1	1
75～80	1	1	2
80～85	2	1	3
85～90	1	8	9
90～95	2	2	4
95～	0	2	2
合計	7	15	22
平均年齢	83 才 3 ヶ月	86 才 9 ヶ月	85 才 8 ヶ月

在所期間別状況表

2018/05/09 18:18:10

1 / 1

地域密着特別養護老人ホーム
きしがわ園

基準日 : 平成30年03月31日

サービス種類: 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活
介護

在所年数	男性	女性	合計
0 ~ 5	5 名	12 名	17 名
5 ~ 10	1 名	2 名	3 名
10 ~ 15	0 名	0 名	0 名
15 ~ 20	0 名	0 名	0 名
20 ~ 25	0 名	0 名	0 名
25 ~ 30	0 名	0 名	0 名
30 ~ 35	0 名	0 名	0 名
35 ~ 40	0 名	0 名	0 名
40 ~ 999	0 名	0 名	0 名
計	6 名	14 名	20 名
平均在所期間	2 年 0 ヶ月 (752.0 日)	1 年 8 ヶ月 (637.0 日)	1 年 10 ヶ月 (671.0 日)

年間要介護度別利用日数

対象年度：平成29年度 サービス種類：全て

2018/05/09 18:55:11 / 2

地域密着特別養護老人ホーム きがね

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定なし	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業対象者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 3	男	30	31	30	31	27	30	31	74	93	93	84	77	631
	女	60	62	68	33	31	54	71	77	62	31	28	55	632
	計	90	93	98	64	58	84	102	151	155	124	112	132	1263
要介護 4	男	55	72	78	92	93	90	93	60	62	62	56	72	885
	女	244	248	229	233	222	159	124	120	143	186	168	173	2249
	計	299	320	307	325	315	249	217	180	205	248	224	245	3134
要介護 5	男	30	34	60	62	62	60	62	45	31	31	28	31	536
	女	130	131	100	124	147	150	186	204	217	215	195	185	1984
	計	160	165	160	186	209	210	248	249	248	246	223	216	2520
総合計 (日)	男	115	137	168	185	182	180	186	179	186	186	168	180	2052
	女	434	441	397	390	400	363	381	401	422	432	391	413	4865
	計	549	578	565	575	582	543	567	580	608	618	559	593	6917

(注1) 該当月末日商点で有別な要介護度より算出しています。

(注2) 通所日は日数に含まれません。

平成 2 9 年度

事業報告書

特別養護老人ホーム きしがわ園

平成 29 年度 特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書（案）

1. 29 年度目標額 143,600,000 円

2. 29 年度達成額 137,136,967 円

3. 目標額に対しての達成率 95%

4. 目標達成について

今年度は利用日数 10432 床で内、空床は 518 床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内 49 床となっている。（尚、特別養護老人ホームきしがわ園の 29 年度達成額には含まれていない。）

職員一同が努力し、迅速に対応する事で事故を未然に防げた事が達成率 95%の要因と考えられる。

残り 5%の要因として今年度は入退所が非常に多い点が挙げられる、入居者の入院時、死亡等による退所時の対応等も随時行っていたが、毎月のように入退所があり、入所者が決まらず円滑に進まなかった時期もあり、年間の入所者では 20 人、退所者は 17 人となっている、また入所予定だった方、入院後の状態悪化により退院が伸びるケースにより、連携がスムーズに行かず、空床利用が上手く利用者のニーズに合わなかった事が挙げられる。

また状態の著しい低下により、嚥下困難、夜間の痰吸引等の医療ニーズが発生した場合に施設の受け入れ態勢が整っておらず、他の医療の整った施設や医療機関等へ移られる方が多かった点も挙げられる。

今後はこの点も検討課題にし目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供でき

た。

- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴を実施できた。
- ③ レクリエーション、行事についてはその季節に合わせた内容で行い、入居者が楽しく過ごして頂けるよう努めた。
- ④ 介護計画書については、入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。また、24時間シートの活用によりユニットケアを推進させた。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生リスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。

7. 虐待防止

平成28年度は2階（ユニット型）で虐待が疑われるケースがあり、紀の川市にも入ってもらい調査を受けている。

同様の虐待が起こらないよう、今後も高齢者虐待防止法を職員に周知し、虐待防止に向けた研修を定期的に取り組む事が必要であるとする。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明

と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

入居者の介護度の重度化、事故対策検討会議等の定期的開催により、1つ1つの事故対策を講じたこと、ヒヤリハットによる要因分析等により事故が未然に防げたと考える。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内外研修の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上を行った。

11. 法令順守の徹底

各研修（認知症・人権等）の参加により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や論理を根付かせ、基本的人権を尊重し、尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

地域に愛され開かれた施設としてボランティアや実習生等の受け入れ、外出行事等での地域との連携・交流に努めた。

今後も入居者と家族の信頼関係の構築に努め、かつ職員の質の向上、個人を尊重した介護の統一により、入居者が安心して楽しく生活してもらえるよう努めたい。また資格を持った職員の体制が整えば、算定できる加算も増えてくる為、職員の質の向上の為にも資格の取得が重要になると考える。

以上

年間行事実績報告書(平成29年度)

[illegible][illegible][illegible]

特別養護老人ホームきしがわ園・入所・退所状況

退所者在所期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

性別		名前	入所	退所	在所日数	在所期間
女	退	A	H26/02/11	H29/04/11	1155日	3年2ヶ月0日
男	退	B	H29/05/11	H29/06/12	32日	0年1ヶ月1日
女	退	C	H29/02/23	H29/07/13	140日	0年4ヶ月20日
女	退	D	H27/12/24	H29/07/14	568日	1年6ヶ月20日
女	退	E	H29/03/09	H29/07/18	131日	0年4ヶ月9日
女	退	F	H26/01/31	H29/08/12	1289日	3年6ヶ月12日
女	退	G	H28/04/01	H29/08/22	508日	1年4ヶ月21日
男	退	H	H29/04/27	H29/09/30	156日	0年5ヶ月3日
男	退	I	H29/02/22	H29/10/06	226日	0年7ヶ月14日
女	退	J	H24/09/01	H29/10/23	1878日	5年1ヶ月22日
男	退	K	H29/07/20	H29/11/16	119日	0年3ヶ月27日
男	退	L	H29/10/26	H30/01/14	80日	0年2ヶ月19日
女	退	M	H29/11/22	H30/01/31	70日	0年2ヶ月9日
女	退	N	H28/01/05	H30/02/08	765日	2年1ヶ月3日
女	退	O	H26/01/20	H30/02/19	1491日	4年0ヶ月30日
女	退	P	H29/04/19	H30/03/12	327日	0年10ヶ月21日
男	退	Q	H29/11/07	H30/03/21	134日	0年4ヶ月14日

男	6名	女	11名	合計 17名
---	----	---	-----	--------

年間入所者数 平成29年4月1日～平成30年3月31日

女	入	A	H29/04/06			
女	入	B	H29/04/19			
男	入	C	H29/04/27			
男	入	D	H29/05/11			
女	入	E	H29/06/22			
男	入	F	H29/07/20			
男	入	G	H29/07/28			
女	入	H	H29/08/01			
男	入	I	H29/08/23			
男	入	J	H29/09/20			
男	入	K	H29/10/26			
男	入	L	H29/11/07			
女	入	M	H29/11/22			
女	入	N	H29/11/28			
男	入	O	H30/02/07			
女	入	P	H30/02/09			
女	入	Q	H30/02/16			
女	入	R	H30/03/05			
女	入	S	H30/03/19			
女	入	T	H30/03/26			

男	9名	女	11名	合計 20名
---	----	---	-----	--------

2018/05/10 15:05:01 / 3

特別養護老人ホーム きしがキ

特別養護老人ホーム きしがキ

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所前状況	居宅	3	1	1	2	2	0	0	2	0	0	3	3	17
	医療機関	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	介護老人福祉施設	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入所前状況の合計	3	1	1	2	2	1	1	3	0	0	3	3	20

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所理由	介護者不在	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	家庭不和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	公的理由	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護困難	1	1	1	1	1	0	0	2	0	0	3	2	12
	施設転園	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	独居	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	入所理由の合計	1	1	1	2	2	1	1	2	0	0	3	3	17

[illegible]

入所／退所狀況年間集計一覽表

2018/05/10 15:05:
2 / 3

対象年度

特別養護老人ホーム

サービス種類…全て

[illegible]

入所／退所状況年間集計一覧表

2018/05/10 15:05:03 / 3

対象年度 : 平成29年度

特別養護老人ホーム きしがき

サービス種類 : 全て

分類名	区分名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退所後状況	介護療養型医療施設入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所後状況の合計	1	0	1	3	2	1	2	1	0	2	2	2	17

利用者平均要介護度

対象年度：平成29年度

特別養護老人ホーム きしがき

サービス種類：介護福祉施設サービス

	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均要介護度	男	3.5	3.7	3.7	3.6	3.3	3.1	2.9	3.1	3.2	3.1	3.0	2.8	3.2
	女	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	4.0	3.9	4.0
	平均	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.7	3.8

(注1) 該当月末日時時点で有効な要介護度より算出しています。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

年齢階層別利用者状況表

2018/05/10 15:09:07

1 / 1

実績期間 : 平成29年04月01日 ~ 平成30年03月31日

特別養護老人ホーム きしがわ園

基準日 : 平成30年03月31日

サービス種類 : 介護福祉施設サービス

年齢	男性	女性	計
65才未満	0	0	0
65～70	2	1	3
70～75	0	0	0
75～80	2	0	2
80～85	2	5	7
85～90	3	8	11
90～95	2	9	11
95～	0	13	13
合計	11	36	47
平均年齢	80才8ヶ月	90才6ヶ月	88才3ヶ月

在所期間別状況表

2018/05/10 15:11:43

1 / 1

基準日 : 平成30年03月31日

特別養護老人ホーム きしがわ園

サービス種類 : 介護福祉施設サービス

在所年数	男性	女性	合計
0 ~ 5	5 名	23 名	28 名
5 ~ 10	0 名	2 名	2 名
10 ~ 15	0 名	0 名	0 名
15 ~ 20	0 名	0 名	0 名
20 ~ 25	0 名	0 名	0 名
25 ~ 30	0 名	0 名	0 名
30 ~ 35	0 名	0 名	0 名
35 ~ 40	0 名	0 名	0 名
40 ~ 999	0 名	0 名	0 名
計	5 名	25 名	30 名
平均在所期間	0 年 7 ヶ月 (240.0 日)	1 年 8 ヶ月 (622.0 日)	1 年 6 ヶ月 (558.0 日)

年間要介護度別利用日数

対象年度：平成29年度 サービス種類：介護福祉施設サービス

特別養護老人ホーム きしがわ

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定なし	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業対象者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 2	男	0	0	0	0	9	30	31	30	31	31	28	0	190
	女	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	0	0	306
	計	30	31	30	31	40	60	62	60	62	62	28	0	496
要介護 3	男	30	31	30	47	93	101	124	106	93	93	106	124	978
	女	192	217	210	217	217	186	215	210	217	217	218	305	2621
	計	222	248	240	264	310	287	339	316	310	310	324	429	3599
要介護 4	男	34	83	72	62	62	60	12	54	62	44	28	21	594
	女	300	310	309	293	239	210	209	189	217	217	176	204	2873
	計	334	393	381	355	301	270	221	243	279	261	204	225	3467
要介護 5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	246	248	240	239	240	240	248	222	244	240	215	217	2839
	計	246	248	240	239	240	240	248	222	244	240	215	217	2839
総合計 (日)	男	64	114	102	109	164	191	167	190	186	168	162	176	1793
	女	768	806	789	780	727	666	703	651	709	705	609	726	8639
	計	832	920	891	889	891	857	870	841	895	873	771	902	10432

(注1) 該当月末日時点での有効な要介護度より算出しています。(注2) 退所日は日数に含まれません。

平成 2 9 年度

事業報告書

きしがわ園ショートステイサービス
第 2 きしがわ園ショートステイサービス

きしがわ園ショートステイサービス 平成29年度事業報告書

1.29年度目標額 79,300,000 円

29年度達成額 69,788,417 円

達成率 88%

2.目標達成について

29年度は新規利用者は28年度と同数の49名であった。
29年4月のロング入所者は9名であったが、30年3月では5名である。ロング入所から施設入所への移行というサイクルで施設での空床の充足がスムーズ循環するという長所がある。しかし、施設入所者の退所が頻繁にあったことで、ショートステイのロング入所者が施設入所へ移行していくサイクルが短くなったことで、ロング枠に空床ができた月が多くあったことと、その枠を利用する利用者で埋められなかったことで、稼働率が低くなってしまい達成額にも影響した。
平成30年1月より、障害者短期入所事業を開始し、高齢者のみならず、障害者の受け入れも行っており、障害者の新規利用についても、紀の川市社協の障害者相談支援専門員との密な連携により、確保するように努めており、目標達成できるようにしていく。

3.事業計画の実施について

(1) サービス内容

全職員による検食の実施で日頃の食事の味付けや温度、量などを評価を行っている。また、委託業者の管理栄養士と当施設管理栄養士との日々の連携と毎月1回の給食会議においての現場からの意見を吸い上げることで、より良い食事の提供に取り組んでいる。また、慢性的な疾患を抱える様々な利用者に対して管理栄養士の指導に基づいて低栄養や脱水症状にならないように健康状態に合わせて調理方法を工夫し、嗜好メニューを取り入れるように連携を図った。

(2) 家族との連携

契約時のサービス内容・料金等の説明を丁寧に行い、安心感を持って利用できるよう心掛けた。また、送迎時毎に利用状況等の説明を行い、普段家族様には見えない施設での状況を説明するなどのコミュニケーションを積極的にとり、信頼関係を構築できるよう努めた。

(3) 機関・他事業所との連携

包括センター・居宅介護支援事業所のケアマネ等からの相談に対して迅速かつ丁寧に対応し、受け持ち利用者のショート利用に対応した。また、実績等の報告で直接事業所へ訪問し、担当者として顔を見える関係”作りに努めて事業所のPRを行い紹介しやすい事業所としての存在感を示した。

(4) 身体拘束ゼロ

身体拘束防止委員会の開催で身体的な拘束以外にも心理的な拘束である”スピーチロック”について職員へのアンケート実施し、現状と今後の課題についての検討を行い、心理的拘束を無くすことへの取り組みを行った。また、定期的な研修、ミーティング等での職員への周知徹底にて、引き続き身体・心理的拘束ゼロを目指していく。

(5) 苦情処理

苦情については、特に利用者側(本人、または家族)から介護スタッフの対応について苦情が主であった。双方のコミュニケーションの行き違いや、利用者側の思い違いが原因の一端でもあり、一連のショートステイ利用時での支援方法に間違いはなかったのか検証を行なった。また担当ケアマネジャーへの相談・協力依頼を含めて迅速・適切に対応した。結果として、事業所内外での当事者同士の話し合いや対応にて問題解決に結びつけ、また、職員に対しても指導やフォローも行った。

(6) リスクマネジメント

事業所内で起こりうる利用者の事故等を未然に防ぐために、事故防止委員会を設置し、定期的な委員会を開催し、委員会で出た案に基づいてヒヤリハットのメモ貼り付け方式を試みた。また、事故報告書に基づく検証を通してミーティングでの職員への共有化を図り、防止に取り組んだ。

(7) 職員の資質向上

法人理念及び経営方針の周知へ向けた取り組みを実施し、共通理解を徹底している。また、各専門職資格取得奨励と施設内勉強会・研修を継続的に実施。そして外部勉強会・研修会等への積極的参加を促した。日々のミーティング等でサービスやマナーを向上を目指し、介護の質を高めるように取り組んだ

(8) 法令順守、及び高齢者権利擁護、虐待防止の徹底

認知症研修や人権研修に参加し、職員の知識向上を図った。また各委員会を通じて周知徹底を図り、利用者の人権を尊重したケアができた。

以上

月別利用人数

(H29年4月～H30年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	15	14	10	15	12	14	14	9	9	11	10	9	142
女	27	25	25	29	26	30	27	34	41	35	36	31	366
合計	42	39	35	44	38	44	41	43	50	46	46	40	508

月別利用日数

(H29年4月～H30年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	250	210	178	203	123	127	192	117	124	131	116	161	1932
女	275	271	254	291	284	274	270	355	397	422	393	393	3879
合計	525	481	432	494	407	401	462	472	521	553	509	554	5811
稼働率(%)	87.5	77.58	72	79.68	65.65	66.83	74.52	78.67	84.03	89.19	90.89	89.35	

要介護度別状況

(H29年4月～H30年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要支援 2	2	1	2	2	3	5	3	4	5	2	4	2	35
要介護 1	4	4	4	6	4	3	2	4	2	2	2	2	39
要介護 2	11	11	6	13	9	14	10	13	12	13	12	12	136
要介護 3	10	7	9	10	9	11	12	10	15	13	15	13	134
要介護 4	7	6	6	6	5	4	8	6	9	8	5	4	74
要介護 5	8	9	7	7	8	7	6	6	7	8	8	7	88
	42	39	35	44	38	44	41	43	50	46	46	40	

平成29年度

事業報告書

デイサービスセンターきしがわ園

平成 29 年度デイサービスセンターきしがわ園事業報告書

1. 29 年度達成額：53,518,258 円

2. 29 年度目標額：51,120,000 円

3. 達成率：104.7%

4. 目標達成について

目標達成については、聖アンナデイサービスセンターとの合併や障害サービス日中一時支援の実施、非常勤の理学療法士による土曜日の機能訓練の実施している。地域の利用者様のニーズを可能な限り対応する姿勢で臨んでいる。合併の効果は大きいですが、その他の取り組みによっても、当期の目標が達成できた要因であると思われる。

5. 事業計画の実施について

1、通所介護事業・介護予防通所介護事業・日中一時支援事業（障害サービス）。

2、年末年始を除く月曜日から土曜日、祝日の事業の実施。

3、介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、利用者一人ひとりの身体的・精神的状況やニーズを把握し、当事業所にて介護計画を作成し、そのサービスが適切かつ個別的に提供できた。

4、利用者の御家族にとっても心身のゆとりの持てる時間を提供するという面をとらえ、御家族が安心して利用者を送り出せるよう、御家族に対しても常日頃から積極的にコミュニケーションをとり、事業所と利用者とその御家族の良好な信頼関係を築き、お互いに協力し合える環境を作ることができた。

5、多様なサービスを活かした個別対応のレクリエーションで、利用者の状況に応じた選択メニューを作り参加して頂いた。また、お花見、餅つき、バス遠足などの四季折々の行事や、クッキング、ショッピング、書道などの毎月の行事を計画し、実践した。

年 間 行 事 表

デイサービスセンターきしがわ園

	行 事	場 所	実 施 日
4月	花見	美里、紀美野町ドライブ	3日(月) 5日(水)6(木)7(金)
	一期ボランティア	デイフロアー	4日(火)
	尺八ボランティア	デイフロアー	10日(月)
	書道デッサン	デイフロアー	11(火)～
	クッキング	デイフロアー	20日(木)
	クラフトレク	デイフロアー	24日(月)
	クロスワード	デイフロアー	26日(水) 27日(木)
5月	書道デッサン	デイフロアー	1日(月)～6(土)
	尺八ボランティア	デイフロアー	11日(木)
6月	書道デッサン	デイフロアー	1日(木)～7日(水)
	尺八ボランティア	デイフロアー	16日(金)
	有明会	デイフロアー	19日(月)
	紀州の民話	デイフロアー	20日(火)
7月	外食ショッピング	ダイエー和歌山店	5(木)
	書道デッサン	デイフロアー	1日(土)～7日(金)
	尺八ボランティア	デイフロアー	10日(月)
	カラオケ大会	デイフロアー	21日(金)
	ハンドベルボランティア	デイフロアー	18日(火)
8月	書道デッサン	デイフロアー	1日(火)～7日(月)
	尺八ボランティア	デイフロアー	12日(土)
9月	書道デッサン	デイフロアー	1日(金)～4日(月)
	楽器演奏ボランティア	デイフロアー	5日(火)
	尺八ボランティア	デイフロアー	7日(木)
	一期ボランティア	デイフロアー	11日(月)
	そよかせ会ボランティア	デイフロアー	13日(水)
	敬老会	デイフロアー	18日(月)
10月	書道デッサン	デイフロアー	2日(月)～7日(土)
	運動会	3階	11日(水)
	尺八ボランティア	デイフロアー	12日(木)
11月	書道デッサン	デイフロアー	1日(水)～7日(火)
	遠足	かつらぎ町柿の里	8日(水)～10日(金)
	二胡ボランティア	デイフロアー	15日(水)
	尺八ボランティア	デイフロアー	17日(金)
12月	書道デッサン	デイフロアー	1日(金)～5日(火)
	尺八ボランティア	デイフロアー	11日(月)
	スマイルサークル	デイフロアー	6日(月)
	忘年会	デイフロアー	13日(水)
	生け花	デイフロアー	23日(土)
	クリスマス会	デイフロアー	25日(月)
1月	書道デッサン	デイフロアー	4日(木)～8日(月)
	マジック	デイフロアー	9日(火)
	読み聞かせボランティア	デイフロアー	12日(金)
	新年会	デイフロアー	18日(木)
	尺八ボランティア	デイフロアー	20日(土)
2月	書道デッサン	デイフロアー	1日(木)～7日(水)
	尺八ボランティア	デイフロアー	19日(月)
	歌のボランティア	デイフロアー	27日(火)
3月	書道デッサン	デイフロアー	1日(木)～3日(土)
	マジック	デイフロアー	5日(月)
	琴ボランティア	デイフロアー	15日(木)
	尺八ボランティア	デイフロアー	26日(月)

※毎月の行事
書道、

平成 2 9 年度

事業報告書

第 2 聖アンナケアプランセンター

1. 29年度目標額と達成度

目標額 13,530,000円

達成額 12,345,480円

目標に対しての達成率 91.2%

2. 目標達成について

新規相談は一定に入ってくる状況であるが、困難なケースへの対応で時間がかかったり、職員の体調不良等で新規相談へ対応しきれなかったことが大きな要因である。担当件数が直接数値として現れるため、1名の対応の遅れが大きく数字に響いた。今後は困難ケース対応の分散を図り安定して件数を持てるようにする必要がある。

29年度は120万円目標に届かなかったが、30年度は要介護者を月あたり9名増やすことで達成を目指す。

3. 29年度重点的取り組み

- ①介護保険制度の動向や地域の福祉情勢を把握し対応できるよう改善に努める。
- ②地域の関係機関との連携を強化し、安定した事業所運営に取り組む。
- ③利用者のニーズを的確に捉え、自立支援と重度化予防の視点を持ち、ケアマネジメントを行う。
- ④専門研修への参加及び自己研鑽を行うことにより、専門職としての資質向上に努め、利用者及び地域に選ばれる事業所を目指す。
- ⑤法令順守するとともに、個人情報の保護に留意し、情報提供及び情報開示、並びに利用者、家族が保険制度についての納得しうる説明責任を果たす。

4. 重点的取組の実施状況

①について

30年度の制度改正に対応するための事前の情報収集を行った。

地域包括支援センター主催の地域ケア会議へ参加し事例検討を通して地域の事業所との関係作りを行った。

地域の様々な事業所との情報交換により地域の実情を把握し運営に生かす努力を行った。

②について

地域の医療機関やサービス事業所等との連携を深め相談援助が円滑に行えるよう努めた。

③について

自立支援のアマネジメントに関する研修に参加し、知識の習得や新しい情報

の収集を行った。

利用者様のニーズを的確に把握できるよう対人援助技術を活用し信頼関係を作った。そのうえで問題やニーズを明らかにし、利用者様の望む暮らしをできる限り実現できるよう検討し利用者様に合ったサービスを紹介しケアプラン作成にあたった。

そのために地域の様々なサービスや事業所に足を運び特色を把握した。

④について

ケアマネジメントに関係する研修や地域ケア会議での研修・事例検討を通して知識や技術の向上に努めた。地域の社会資源情報について、できるだけ足を運び情報収集するよう努めたが、事業所の開設が多く、全ての把握は困難であった。包括支援センターや他の居宅と連携し社会資源情報を整理しておくことも必要である。

⑤について

ケアマネジメントに当たっては、利用者様のニーズを把握し思いを尊重しながら、サービス利用にあたっての条件やメリット・デメリットを十分に説明し納得いただいたうえでケアプラン作成を行った。また、個人情報の利用目的や利用範囲を説明し理解を得ながら個人情報保護に配慮した。

5. その他取組

ケアマネジメント業務だけではなく、総合相談窓口として、高齢者に関する相談を受け、地域包括支援センターと連携して対応に当たった。

病院のソーシャルワーカーと連絡を取り合ったりカンファレンスに積極的に参加し円滑に連携できる関係を作った。

6. 課題

30年度改正により、ケアマネジャーの課すべき義務が数点追加されており、特に医療機関との連携が強化される内容となっている。また、サービス事業所の加算が多数新設されており、その算定のために担当者会議の開催やケアプランの変更等、ケアマネジメント業務の増加が見込まれる。スケジュールの適切な管理、業務の効率化、適切な書類管理が必要となる。

※介護給付の部 (6級地1単位＝ 10.00 計算)

	介護給付 請求件	介護給付内訳		加 算 内 訳									月請求金額
		I 型	II 型	特事Ⅱ	初回	認知症	独居	入連Ⅰ	入連Ⅱ	退院退所	緊力ン	複連	
		1042単位	1353単位	300単位	300単位	150単位	150単位	200単位	100単位	300単位	200単位	300単位	
4月	82	54	28		3								¥950,520
5月	77	52	25		1								¥883,090
6月	78	53	25		4								¥902,510
7月	79	56	23		1								¥897,710
8月	82	59	23		4								¥937,970
9月	80	54	26		3								¥923,460
10月	79	53	26		2					1			¥913,040
11月	78	51	27		1								¥899,730
12月	79	50	29		4								¥925,370
1月	73	45	28		3					1			¥859,740
2月	78	48	30		6								¥924,060
3月	75	47	28		1					2			¥877,580
計	940	622	318	0	33	0	0	0	0	4	0	0	¥10,894,780

※委託事業の部

	予防委託件数	初回	予防請求額	認定調査件数	調査請求額	配食調査件数	調査請求額	月請求金額
		300単位	430単位		¥3,150		¥2,000	
4月	27	1	¥119,100		¥0		¥0	¥119,100
5月	27	1	¥119,100		¥0		¥0	¥119,100
6月	28	1	¥123,400		¥0		¥0	¥123,400
7月	28	1	¥123,400		¥0		¥0	¥123,400
8月	27		¥116,100		¥0		¥0	¥116,100
9月	28		¥120,400		¥0		¥0	¥120,400
10月	25	1	¥110,500		¥0		¥0	¥110,500
11月	28	2	¥126,400		¥0		¥0	¥126,400
12月	29	3	¥133,700		¥0		¥0	¥133,700
1月	28	1	¥123,400		¥0		¥0	¥123,400
2月	27		¥116,100		¥0		¥0	¥116,100
3月	27	1	¥119,100		¥0		¥0	¥119,100
計	329	12	¥1,450,700	0	¥0	0	¥0	¥1,450,700

※月別実績額

	月 別	累 計
4月	¥1,069,620	¥1,069,620
5月	¥1,002,190	¥2,071,810
6月	¥1,025,910	¥3,097,720
7月	¥1,021,110	¥4,118,830
8月	¥1,054,070	¥5,172,900
9月	¥1,043,860	¥6,216,760
10月	¥1,023,540	¥7,240,300
11月	¥1,026,130	¥8,266,430
12月	¥1,059,070	¥9,325,500
1月	¥983,140	¥10,308,640
2月	¥1,040,160	¥11,348,800
3月	¥996,680	¥12,345,480
合計	¥12,345,480	

平成 2 9 年度

事業報告書

社会福祉法人聖アンナ福祉会
地域における公益的取組

地域における公益的な活動モデル事業報告書

I. 社会福祉法人聖アンナ福祉会の取り組み

平成28年3月末に成立した改正社会福祉法では、社会福祉法人が有する高い公益性・非営利性に鑑み、「地域における公益的な取組を行う責務」が第24条第2項に規定されました。既存の制度の対象とならない課題や他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズにより積極的に対応し、地域社会に貢献することが求められていることから、公益的な取組の「見える化」と、より一層の「強化」必要となりました。

そこで社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会が実施する制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクトに参画し、助成申請を行った。

活動モデル事業 助成額 300,000円

II. モデル事業推進にあたっての取り組み

①民生委員との意見交換（h29.7.26）

森澤監事を通じ、民生委員総務部会にて地域で困っている課題など意見交換会を実施できるよう調整していたが、実施には至らなかった。

②居宅介護支援事業所との意見交換会（h29.10.6）

6事業所（聖アンナ福祉会、第2聖アンナケアプランセンター、ヒューマンケア、かがやき、よっといで長山、社協ケアプランセンター）を対象としアン

ケート記入を依頼し、意見交換会を行った。

③法人内での協議（h29.10.23）

居宅介護支援事業所からの意見を参考に介護保険サービス事業所の人員を確保しながら対応できる事業を検討する。

外出支援サービスでは対象外となっている入退院時の送迎支援からまずは実施していくことに決まる。

④行政との意見交換（h29.10.31）

（高齢介護課 水内氏、社会福祉課 前田氏、地域包括支援センター 角氏）

入退院支援事業について説明。

事業活動について地域ケア会議にて周知して頂く。

広報紀の川の掲載については地域限定であるため、掲載不可となる。

Ⅲ．高齢者入退院支援事業の開始

平成29年11月1日から事業を開始する。

紀の川市社会福祉協議会に広報依頼を行い、「福祉きのかわ」に掲載予定。

Ⅳ．協働プロジェクト推進委員会 平成29年度総会

総会に出席し、取組状況について報告を行った。

入退院外出支援事業 実績

(平成29年)

日 時	氏 名	行 先	備 考	担当者
11月20日	堀 昭夫	那賀病院	当日の容体悪化に伴い、救急車を急遽要請し緊急搬送となった為、キャンセルとなる。	
11月30日	岡野 博美	日赤病院	11月から病院送迎の依頼を受けていたが、介護保険更新申請の結果、要介護3となったため、対象から外れた為利用中止となる。	

(平成30年)

1月9日 10:00～	土田 陸介	富田病院	橋本市民病院から富田病院まで搬送を行った。	田辺 元吉
1月10日 10:00～	堀 昭夫	殿田病院	殿田病院より退院時、自宅までの搬送を行った。	近戸
1月15日	宮本 修二	那賀病院	当日連絡があり、退院が延期となったためキャンセルとなる。	
1月19日 13:30～	長尾 敏代	那賀病院	退院時、那賀病院から自宅までの搬送を行った。	近戸
1月22日 12:00～	宮本 修二	那賀病院	有熱の退院延期となりキャンセルとなる。	
1月26日 13:20～	中川 房子	稲穂会病院	貴志川リハビリ病院からの稲穂会病院への転院時の送迎を行った。	島
2月5日 14:00～	山本 康佑	那賀病院	退院時、那賀病院から自宅までの搬送を行った。	近戸
2月6日 12:00～	宮本 修二	那賀病院	退院時、那賀病院から自宅までの搬送を行った。	近戸

高齢者お困り相談

入退院支援事業開始

平成29年11月～平成30年3月末日まで

①対象者：紀の市外出支援サービス事業申し込み者で貴志町在住の方

入院または退院時の移動手段に困っていませんか？

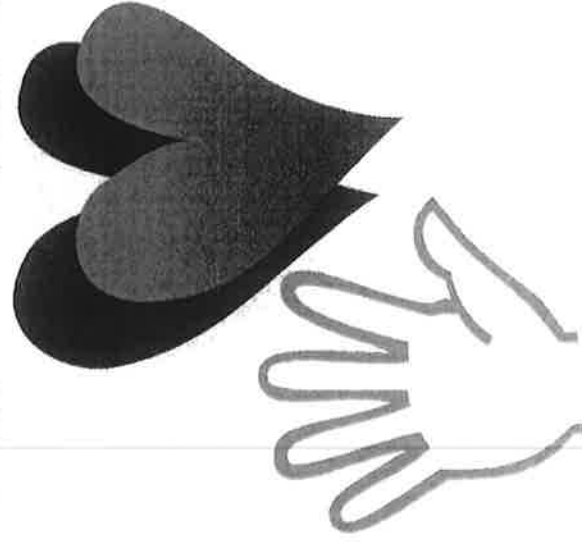
紀の川市の外出支援サービスでは対応できない医療機関への入院や退院時の移送サービスをお手伝いします。

◎ 定期受診などは紀の川市外出支援サービスの利用となります。

◎ 夜間や急な入院には対応できないことがあります。

◎ 費用は平成30年3月末日まではモデル事業として無償で対応します。

* その他利用に関しては利用同意書にて説明致します。



高齢者お困り相談事業（入退院支援事業）実施要綱

社会福祉法人聖アンナ福祉会

1 目的

社会福祉法の改正により「地域における公益的な取組を実施する責務」が明確に規定されたのをうけ、社会福祉法人聖アンナ福祉会が社会福祉事業の主たる担い手として地域の実情に即した公益的な活動に取り組み、地域貢献を図ることを目的とする。

2 事業内容

本事業は、介護が必要な状態にあった高齢者に対して入退院時の送迎支援事業を提供することにより、高齢者が住み慣れた地域で引き続き生活していくことを支援する。

3 実施主体

実施主体は、社会福祉法人聖アンナ福祉会とし、その責任の下にサービスを提供するものとする。また事務所を聖アンナ福祉会本部におき、サービス内容の調整を行う。

4 利用対象者

原則として次の各号に掲げるすべての条件を満たした場合によるものとする。

- a 紀の川市外出支援事業に申込みをされ、利用決定通知を受けたもの。
- b 旧貴志川町在住のもの。

5 利用料

平成30年3月31日までモデル事業とし、利用料は無償とする。

6 損害賠償

この事業の実施に関し発生した損害（第三者に与えた損害を含む。）に対して速やかに必要な措置を講ずるものとする。ただし、利用者に重過失がある場合は、賠償責任または損害額を免除される場合がある。

7 個人情報

事業の実施にあたっては、個人情報の適切な管理に十分配慮した上で、関係者で情報の共有に努めるものとする。

附 則 この要綱は、平成29年11月1日から施行する。